



2027年3月期 第1四半期

決算概要

2026年8月

 日本特殊塗料株式会社

(証券コード 4619 東証スタンダード)



決算サマリー

第1四半期 業績概要

- 自動車生産台数の増加や防水材販売の復調が寄与し、前年同期比で3.5%の増収
- 営業利益については、中東情勢緊迫化に伴う原材料価格高騰の影響を受けたものの、調達の最適化や販売価格の見直しの効果が寄与し前年同期比 + 44.6%
- 海外関連会社の持分法投資利益増加により経常利益が前年同期比 + 60.5%

通期 業績予想

- 堅調な自動車生産台数の推移や原材料調達の最適化により増収増益を確保したものの、為替変動、原油高止まりの状況も踏まえ、通期見通しについては2026年3月期決算発表時から不変
- 塗料関連事業は、第2四半期以降は駆け込み需要の反動減を見込む
- 自動車製品関連事業は、原材料価格やエネルギー価格が高止まりする中、販売価格の見直しに努めるものの為替変動など一部不透明感は継続

中東情勢 の影響

- 2027年3月期第1四半期は、原材料調達の最適化により利益への影響は当初想定を下回った
- 一方で第2四半期以降は原材料価格高止まりの影響を見込む
- 販売価格の見直しは一部に留まっていることから、引き続き適切な販売戦略を実行していく

第1四半期 連結業績概要

- 自動車生産台数の増加や、防水材販売の復調が寄与し、売上高が増加
- 中東情勢に伴う原材料価格高騰など不透明な状況が続く中、一定の利益水準を維持
- 北米中心に海外事業が堅調に推移した結果、海外関連会社の持分法投資利益が増加し、経常利益は増益

単位：百万円	2026年3月期 第1四半期		2027年3月期 第1四半期		前年同期比	
	実績	対売上高 構成比	実績	対売上高 構成比	増減額	増減率
売上高	15,136	—	15,662	—	+526	+3.5%
営業利益	797	5.3%	1,153	7.4%	+356	+44.6%
経常利益	1,455	9.6%	2,335	14.9%	+880	+60.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,158	7.7%	1,819	11.6%	+661	+57.0%
1株当たり 四半期純利益	53.28円	—	85.47円	—	+32.19円	—

セグメント別業績数値

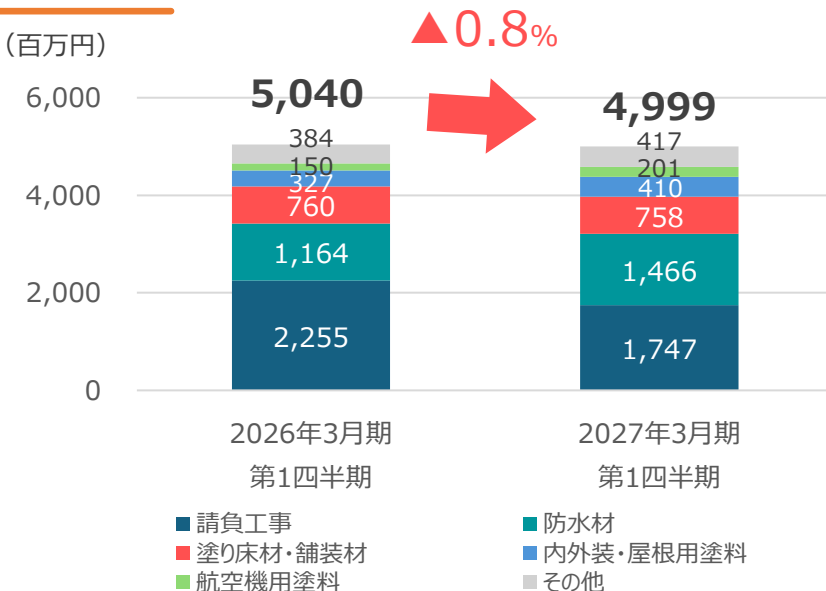
セグメント	決算のポイント		
塗料	売上	 DOWN	✓ 防水材販売の復調により塗料売上は増加 ✓ 請負工事案件の減少により前期比微減
	営業利益	 UP	✓ 原材料価格高騰の影響抑制と防水材販売の復調により一定水準の利益を確保
自動車	売上	 UP	✓ OEM各社の生産台数増加
	営業利益	 UP	✓ 売上増加により利益確保 ✓ 第2四半期以降に原材料価格高止まりによる影響を見込む

単位：百万円		2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	前年同期比 増減率
塗料	売上高	5,040	4,999	△0.8%
	営業利益	201	290	+43.9%
	営業利益率	4.0%	5.8%	+1.8Pt
自動車	売上高	10,092	10,659	+5.6%
	営業利益	593	860	+44.9%
	営業利益率	5.9%	8.1%	+2.2pt
その他	売上高	3	3	+2.0%
	営業利益	2	2	+2.5%
	営業利益率	56.1%	55.8%	△0.3pt

セグメント別業績概要 <塗料関連事業>

売上高

(百万円)



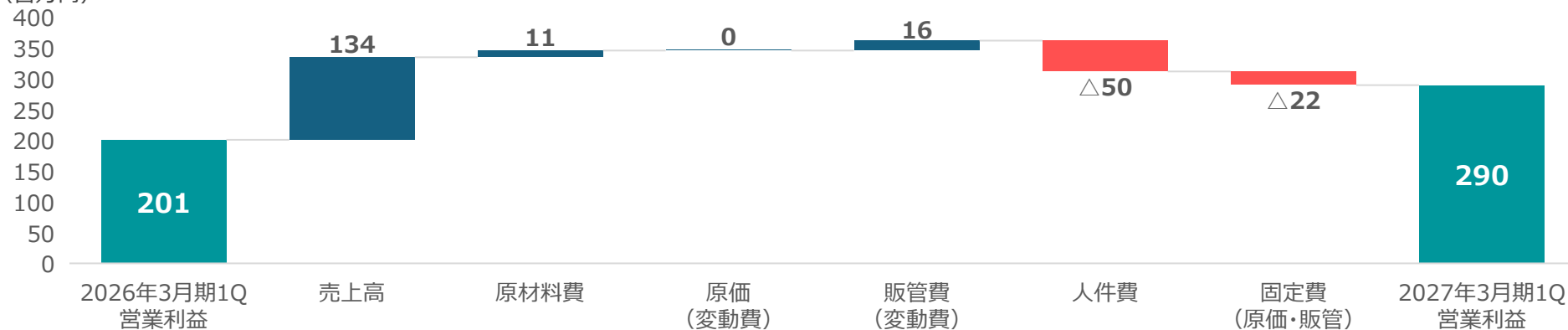
業績概要

減収・増益要因

- 防水材販売が復調となったものの、請負工事案件の減少もあり売上微減▲0.8%
- 調達最適化などの合理化施策により原材料価格高騰の影響を抑制
- 防水材販売の復調による効果と販売価格の見直しにより一定水準の利益を確保

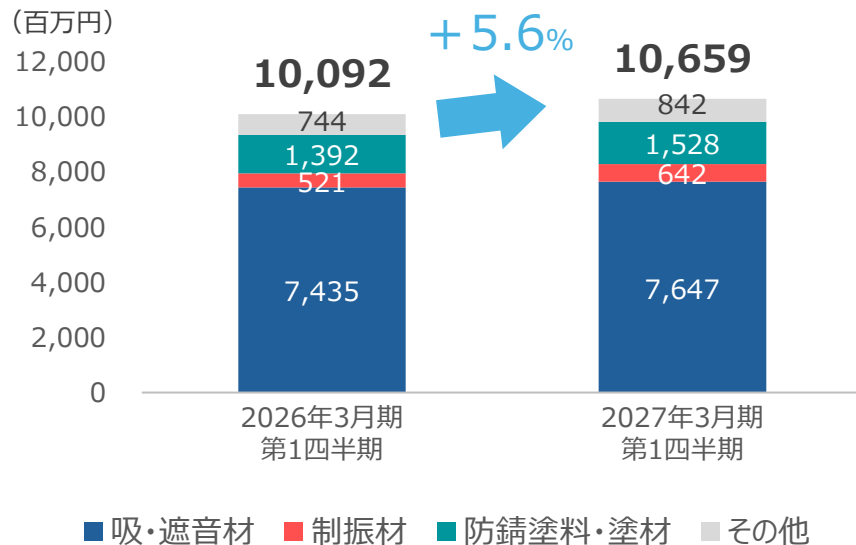
営業利益（増減分析）

(百万円)



セグメント別業績概要 <自動車製品関連事業>

売上高

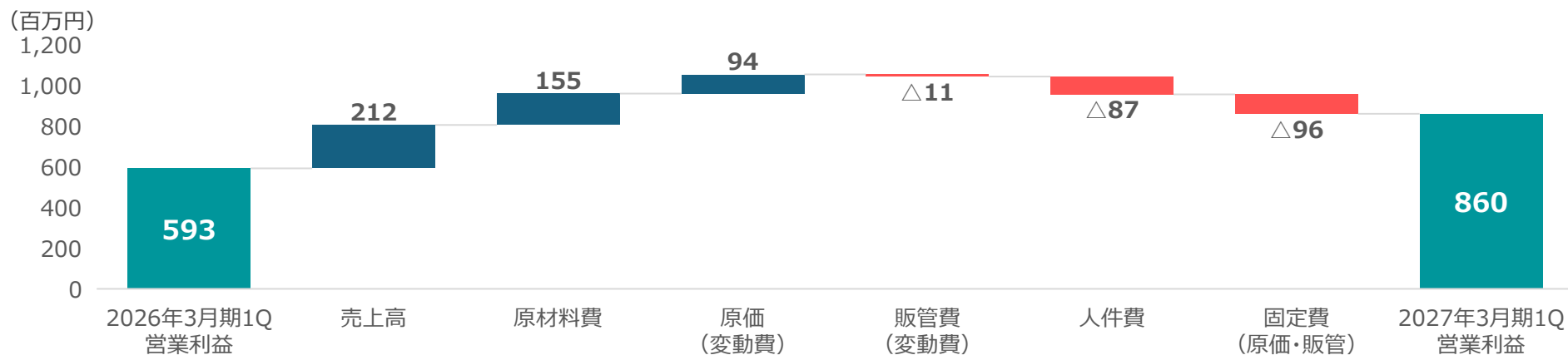


業績概要

増収・増益要因

- OEM各社の生産台数増加による売上増加+5.6%
- 原材料調達の最適化により、原材料価格高止まりの影響を抑制
- 売上増による利益確保により営業利益増加+44.9%

営業利益（増減分析）



連結貸借対照表

- 海外関連会社の株式評価益増加(+903百万円)により固定資産が増加
- 原材料価格高騰による買掛金の増加(+674百万円)により流動負債が増加

単位：百万円	2026年3月期 期末		2027年3月期 第1四半期		前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	37,410	43.8	38,104	43.7	+693
固定資産	47,964	56.2	49,027	56.3	+1,062
有形固定資産	21,383	25.0	21,240	24.4	△142
無形固定資産	1,215	1.4	1,223	1.4	+7
投資その他の資産	25,365	29.7	26,563	30.5	+1,197
資産合計	85,375	100.0	87,132	100.0	+1,756
流動負債	13,898	16.3	15,125	17.4	+1,226
固定負債	4,453	5.2	4,709	5.4	+255
負債合計	18,352	21.5	19,834	22.8	+1,481
株主資本	48,422	56.7	48,623	55.8	+200
その他の包括利益累計額	11,809	13.8	12,148	13.9	+338
非支配株主持分	6,791	8.0	6,526	7.5	△265
純資産合計	67,023	78.5	67,297	77.2	+274

2027年3月期 通期業績予想

- 塗料関連事業は、駆け込み需要の反動減を見込む
- 自動車製品関連事業は、原材料価格が高止まりする中、販売価格の見直しに努めるものの一部不透明感は継続
- 2027年3月期通期業績予想は、2026年3月期決算発表時に公表した内容から不変

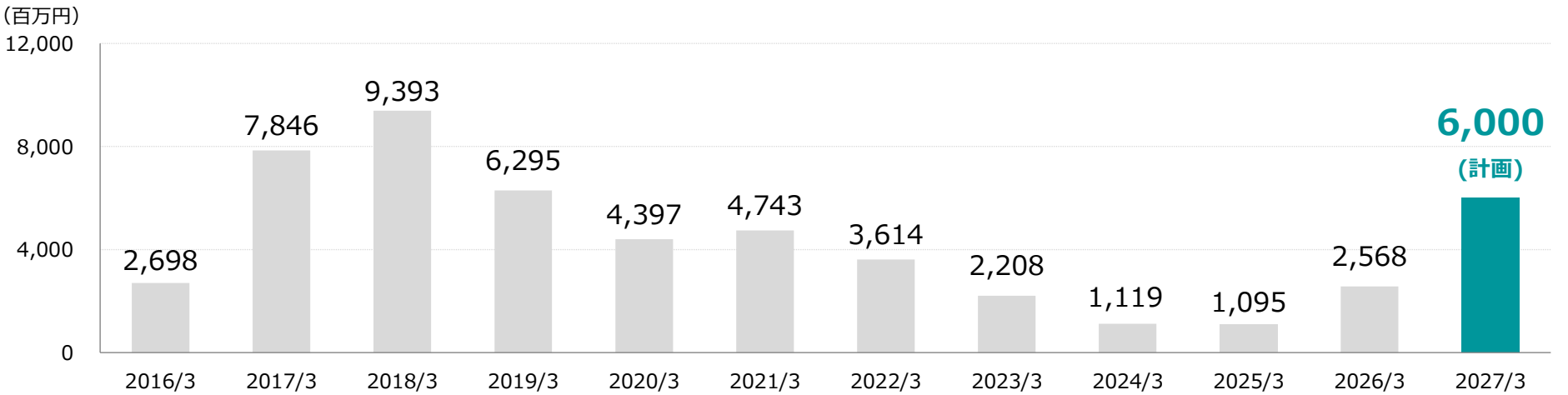
単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期 第1四半期		2027年3月期 (予想)		2027年3月期 通期進捗率
	実績	対売上高 構成比	実績	対売上高 構成比	業績予想	対売上高 構成比	
売上高	61,889	—	15,662	—	66,400	—	23.6%
営業利益	4,004	6.5%	1,153	7.4%	4,050	6.1%	28.5%
経常利益	6,834	11.0%	2,335	14.9%	7,350	11.1%	31.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,244	8.5%	1,819	11.6%	5,300	8.0%	34.3%
1株当たり 当期純利益	242.39円	—	85.47円	—	248.86円	—	34.3%

※2027／3月期見込
持分法投資利益 約 29.7億円
想定為替レート 1ドル＝154円

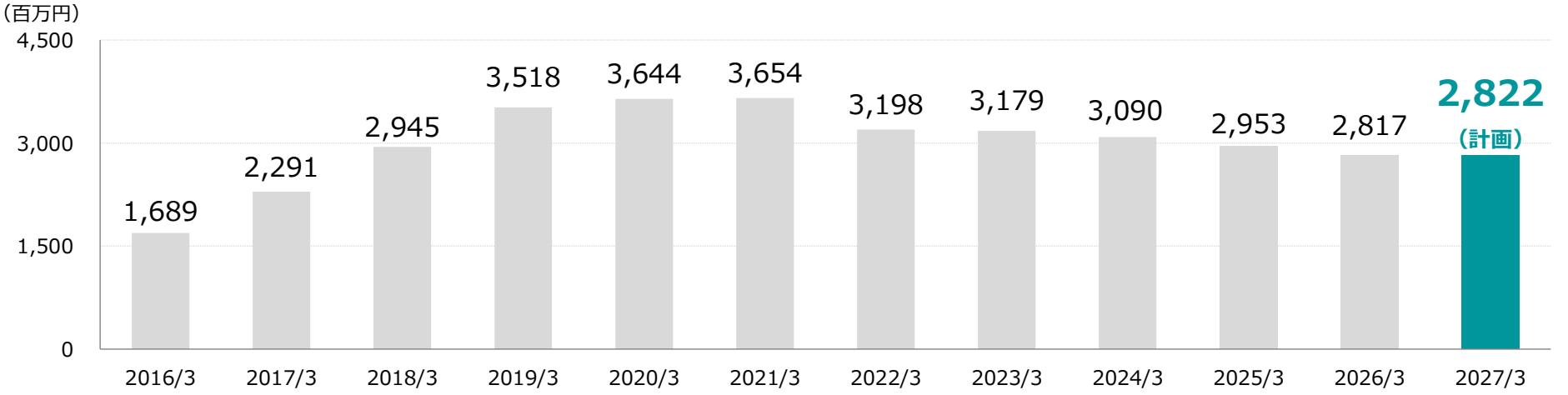
設備投資・減価償却費計画

- 2027年3月期通期の設備投資は計画通り進捗

設備投資（工事ベース）



減価償却費

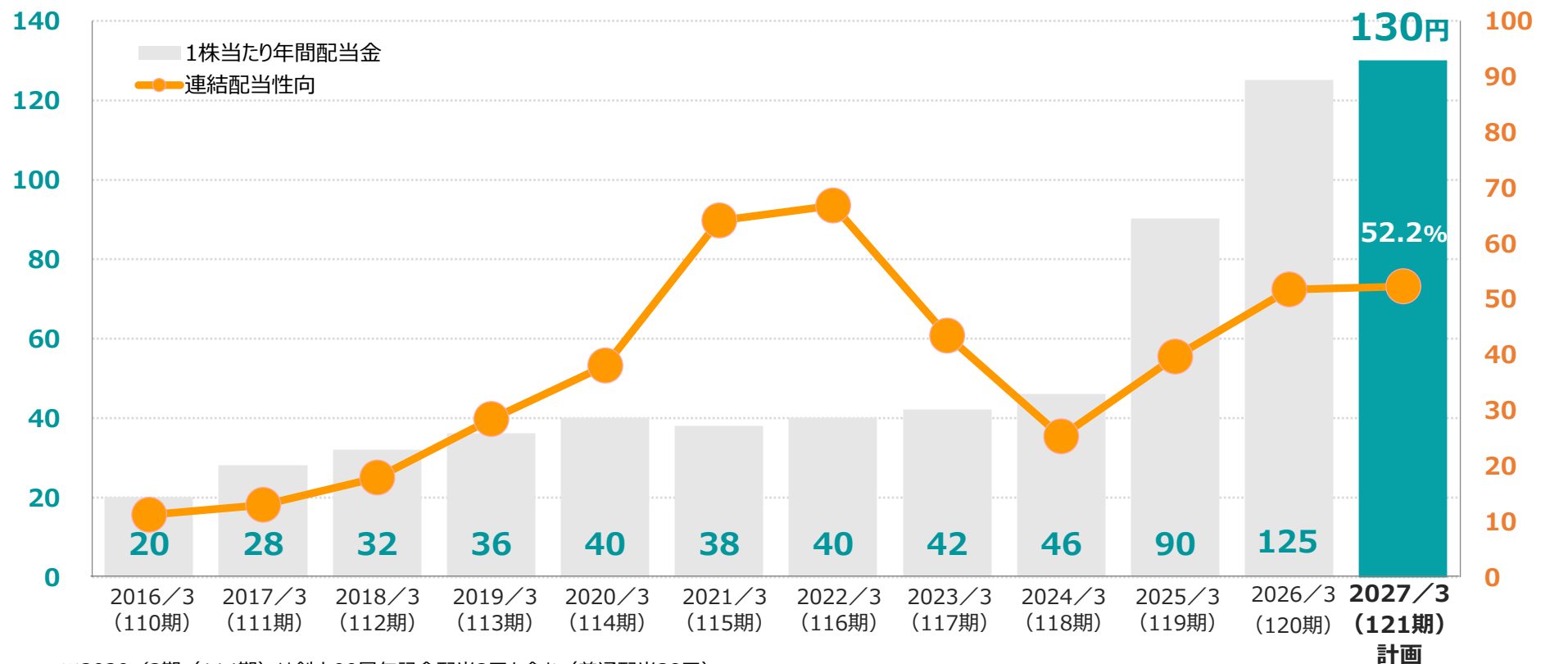


株主還元計画

- 2027年3月期の年間配当は前期比5円増となる1株当たり130円（中間配当：55円、期末配当：75円）の期初計画から変更なし
- 中期経営計画で掲げた総還元性向70%の達成に向けて、今後も機動的な自己株式取得を予定

1株当たり
年間配当金
(単位：円)

1株当たり年間配当金および連結配当性向の推移



※2020/3期（114期）は創立90周年記念配当2円を含む（普通配当38円）

【 I Rに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 経営企画部
(TEL : 03-3913-6136)

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。

